

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	ひょうたん寺子屋実行委員会	
まちづくり 活 動 名	勉強ってホントは楽しい！ひょうたん寺子屋へ来て、まずは宿題・課題からやってみよう！	
活 動 地 域	中村公園記念館、中村コミュニティセンター	
活 動 の 背 景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 経済面や家庭環境が原因で学業から疎遠になって出遅れ、それが要因となって不登校や素行不良になっている子どもたちが中村区にも相当数います。行政の学習支援も徐々に始まってはいますが、まだまだ行き届いていないため、地域の有志とボランティアで学習支援をしていきます。	
目 的 ・ 目 標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。） <ul style="list-style-type: none"> ■ 目的 学業が要因となる不登校児、素行不良児をなくす。 ■ 目標 できる限り格差のない、学習環境づくり。 ■ 成果 自分が得た経験・成果を、今度は自らがまちづくりびととなり、未来の子どもたちに引き継いでくれるような人材が育つ。 	
活 動 内 容	（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。） <p>中村区民憩いの場、遊びの場である中村公園内にある中村公園記念館を使用し、子どもたちが集まりやすい環境を用意します。</p> <p>中村出生の戦国武将「豊臣秀吉」にちなみ、『ひょうたん寺子屋』と名付け、まずは夏休み、冬休みの宿題、課題を確実にこなすことを目指します。</p> <p>宿題・課題を終えている子どもに対しては、学生講師ボランティアによる受験対策等、ワンステップ上の学習を行います。</p> <p>長期休暇後は学業不振や生活の乱れが要因となる不登校、問題行動も増加するので、PTA会長経験者、PTA役員OBの会員が協力し、生活面のフォローもしていきます。</p> <p>予定としては8月21日（火）、24日（金）、28日（火）、31日（金）、12月下旬、1月上旬、いずれも18時から20時まで2時間の学習会を予定しています。</p>	
活 動 予 定 期	令和元年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月	
助 成 金 交 付 申 請 額	50,000 円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 活動拠点となる中村区は、様々な面で子どもたちにとって恵まれているとは言えません。子ども数が減り、小学校の統廃合も実施、または実施が検討されている学区が複数存在するため、地域からの懸念の声も絶えません。また生活保護世帯、片親世帯も多く、結果子どもたちが荒れ、学級崩壊などの事案も発生し、途中で転校を余儀なきされる子どもも少なくありません。荒れる子どもたちはほぼ学習面でも出遅れて不登校、不登校になればまた学習面で出遅れと、負のスパイラルに陥ります。子どもは地域の宝です。1人でも多くの子どもたちに手を差し伸べることでいずれ地域に恩返ししてくれるような子どもたちが増え、結果明るく楽しい、活気があって住みやすい地域になってくれます。	
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 他の自治体で行われている生活保護世帯の子ども対象の学習支援会には複数回見学に行き、運営責任者の方からアドバイスをいただいて計画をしています。会員は地元校のPTA会長OB、役員OB、連絡協議会役員であり、現在も地元校とのパイプがあるため、子どもたちの状況も把握しやすい環境です。会場の中村公園記念館も予定のスケジュールで仮押さえができており、助成金がおり次第チラシ等を作成し、具体的な準備、案内・告知活動をしていきます。	
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) 現在は夏と冬の長期休暇中の学習支援計画に留まっていますが、いずれは週1回の開催ができるように活動を充実・発展させていきます。先ほども述べたように子どもは地域の宝です。子どもたちが明るく健やかに育ってくれば、自然と地域も明るく元気のある街になります。いずれはひょうたん寺子屋出身者がまちづくり活動の中心となるような、そんな活動を目指していきます。	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
中村公園事務所 (指定管理者：岩間造園株式会社)	会場の確保、机・イスなどの会場設営にご協力いただく承諾をいただいています。
中村区役所・地域力推進室	会の定例会にオブザーバーとして参加していただき、アドバイスをいただいています。
愛知大学	学生講師ボランティアの派遣。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
1	5	定例会	
	6	定例会	ひょうたん寺子屋の活動、助成の結果について協議・検討。告知チラシ案提出。
	7	定例会	具体的な担当者決め、協議・検討・準備。告知チラシ配布。順次告知開始
	8	定例会・準備会 活動実施 21・28日	申込状況、各担当の準備状況などについて協議・検討。下旬に活動実施。
	9	定例会	反省会。冬季休暇支援に向けて協議・検討
	10	定例会	冬季ひょうたん寺子屋の活動計画について協議・検討
	11	定例会	冬季ひょうたん寺子屋の活動計画について協議・検討
	12	定例会・準備会 活動実施(25)・下旬	申込状況、各担当の準備状況などについて協議・検討。下旬に活動実施。
2	1	定例会・準備会 活動実施(4)月上旬	12月の反省、各担当の準備状況などについて協議・検討。月上旬に活動実施。
	2	定例会	反省会。来年度の活動に向けて協議・検討 報告書の内容確認
	3	定例会	来年度の活動に向けて協議・検討。 報告書の最終確認

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額）				50,000 円
※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。				
※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				
活動経費の内訳	賃借費	ひょうたん 寺子屋会場	中村公園記念館・夜間使用料 (2,400円×4日)	9,600 円
	印刷費	告知チラシ作成	A4判・1,000部	5,000 円
	広告費	チラシデザイン費	A4判・カラー	15,000 円
	謝金	講師ボランティア	1000円×4人×4日(延べ16人)	16,000 円
	消耗品費		学習支援に必要な筆記用具、用紙などの 消耗品購入	4,400 円
支出合計				50,000 円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。